

参考資料

1. まちづくり基本構想〔概要版〕（平成 24 年 12 月）
2. まちづくり基本計画〔概要版〕（平成 25 年 3 月）

北中城村まちづくり基本構想 [概要版]

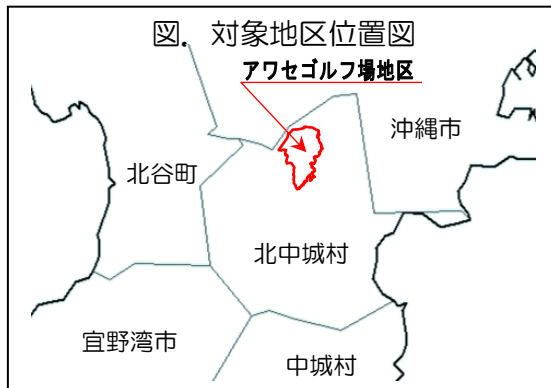
0. 調査の背景と目的

●背景

- 北中城村では、平成22年7月末日に返還された駐留軍用地「アワセゴルフ場地区」において土地区画整理事業の実施に向けて準備が進められている。
- この跡地利用は、本村の発展をけん引していくものと期待されている。

●目的

- アワセゴルフ場地区の跡地利用においては将来のまちづくりに必要な要素が整理されているが、それらの要素を満たす機能や施設の全てが計画されているわけではない。
- そこで、アワセゴルフ場地区を調査対象地区として、まちづくりに必要な要素を満たすために必要な施設、機能を抽出し、当該施設の基本構想を策定することを目的とする。



1. 対象地区の基礎的条件調査

①北中城村の沿革

- 中城村の一部であったが、戦後の米軍施設設置に伴う村域の分断によりS21年に分村して誕生
- 現在も村域の約14.2%が軍用地

②地形及び土地利用

- 中城湾から内陸の丘陵地まで起伏に富んだ地形
- 市街化区域216ha(18.7%)に対して、米軍施設は概ね平坦な土地164ha(14.2%)を占有
- 軍用地であった対象地区(約46ha)は概ね平坦な台地上にあり、今後新たな市街地が形成される

③交通

- 対象地区は、那覇空港から約40分、名護市内から約45分と、本島内からアクセスが良好
- また、国道330号と沖縄環状線の交わるライカム交差点に面しており、交通環境に優れている

④人口

- 村の人口は、15,951人(H22国勢調査)
- 人口に占める外国人比率は、2.27%と周辺市町村の2倍以上
- 村内の米軍人等の人数は、4,138人と県内で5番目に多い(H23.3.31)
- 対象地区の開発により、対象地区及びその周辺の人口増が見込まれる

⑤産業

- 沖縄県では観光がリーディング産業と位置づけられているが、北中城村には観光施設や宿泊施設が少ない
- 対象地区へ大型商業施設の進出が計画されていることから、商業の活性化が期待できる

⑥公共公益施設

- 主要な施設は村の中央部に立地し、人口の多い北部地域に少ない
- 老朽化に伴い撤去された村立体育館の再建が必要

⑦防災

- 対象地区周辺で避難所機能が不足している
- 村の災害対策として、災害応急対策施設、バックアップ機能、情報発信基地等の機能を備えた中枢防災活動拠点の確保が課題
- 対象地区の北西部で交差する国道330号と沖縄環状線が、緊急輸送道路に指定されている

⑧村の歴史・文化

- 世界遺産「中城城跡」等の文化財や史跡が多い
- 日常的にスポーツ活動が盛んで、村立体育館の利用頻度は非常に高かった
- 特にバスケットボールが盛んで、村内の小中高は、全国大会でも活躍

⑨対象地区の将来像

- 北中城村の新たな顔として、沖縄本島中部圏域の広域交流拠点の形成を目指している
- 県内最大規模の大型商業施設や病院の進出が計画されている
- 将来像の実現に向けて必要な要素(スポーツ交流、地域の歴史文化、防災)を満たす施設機能が

⑩国際交流

- 村の国際交流協会を通して、スポーツ交流や文化交流が行われている
- 琉米高校生友好親善バスケットボール大会が、キャンプ瑞慶覧内の体育館で毎年行われている

2. 必要とされる施設機能

●スポーツ活動の場

- 撤去された体育館の代替施設

●地域活性化の拠点

- 地域資源を活かしたまちづくりを進める活動拠点

●大規模避難所

- 撤去された体育館の代替施設
- 人口の多い村北部地域の避難施設

●防災活動拠点

- 村の中枢防災活動拠点
- 交通環境に優れた立地特性から大規模災害時の自衛隊等の中継基地となる広域防災拠点

多目的アリーナ

3. 基本構想

●スポーツを通じた多様な交流拠点

- 村民がいきいきと暮らせる環境づくり
- 沖縄本島中部圏域の広域交流拠点として活用
- 軍人軍属との交流の促進

●地域文化の継承・創造による活性化

- スポーツを含む地域文化を活かした持続的な活性化に向けた活動拠点として活用

●災害時の防災拠点・避難所

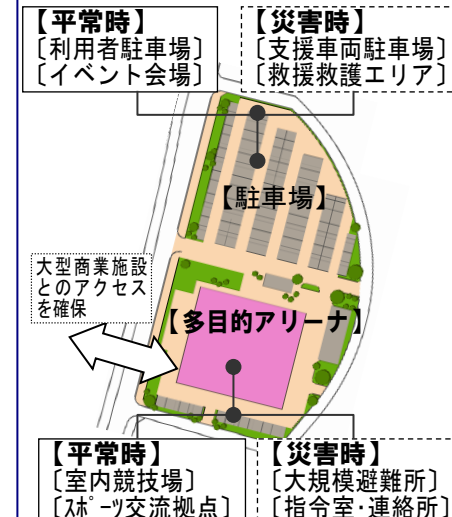
- 村の中枢防災活動拠点として整備
- 災害時の応急復旧活動における物資供給や医療活動について、進出予定の大型商業施設や病院と連携協力
- 交通環境に優れた立地特性を活かし、大規模災害時には自衛隊等の中継基地となる広域防災拠点として活用

[施設(多目的アリーナ)の整備位置]



- 多目的アリーナとして必要な広さを平面的に確保できる
- 病院、大型商業施設との距離が近く、災害時の協力・連携が可能である
- 大型商業施設アクセスが良く、利用者にとって利便性が高い

[基本構想図]



- 【平常時】** [利用者駐車場] [イベント会場]
- 【災害時】** [支援車両駐車場] [救援救護エリア]
- 【平常時】** [室内競技場] [スポーツ交流拠点]
- 【災害時】** [大規模避難所] [指令室・連絡所]

[交流事業]

●スポーツ交流

- 米国の国技であり本村でも盛んなバスケットボールを通じた交流

●イベント開催による交流

- 伝統芸能の演舞や体験、地域の物産展等の開催を通じた交流

村民及び周辺市町村の人々との交流、在住外国人や米軍人等との国際交流の場となり、地域の活性化に寄与する

北中城村まちづくり基本計画 [概要版]

施設利用プログラム

アワセゴルフ場地区総合整備計画のまちづくりの4つの理念として掲げる「環境」、「健康」、「観光」、「防災」のキーワードを軸に施設利用プログラムを展開します。

基本方針

利用の方向

利用メニュー（案）

平常時

1 スポーツを通じた多様な交流拠点

A 村民のスポーツ活動・健康づくり

スポーツ活動

室内スポーツ、スポーツ教室

健康づくり

マシンジム、健康イベント

2 地域文化の継承・創造による活性化の活動拠点

B スポーツ・地域文化を通じた国際交流

スポーツ国際交流

親善スポーツ大会、スポーツ競技大会

地域文化国際交流

祭り・フリーマーケット、セミナー

C スポーツ・地域文化の振興

スポーツ振興

プロスポーツ競技、スポーツ交流イベント

文化継承・創造

棒踊り(フェーヌシマ)、北中城村青年エイサーまつり

災害時

3 防災拠点及び避難所

D 大規模災害時の防災拠点

防災拠点

救助・救護、物資受入

E 避難所

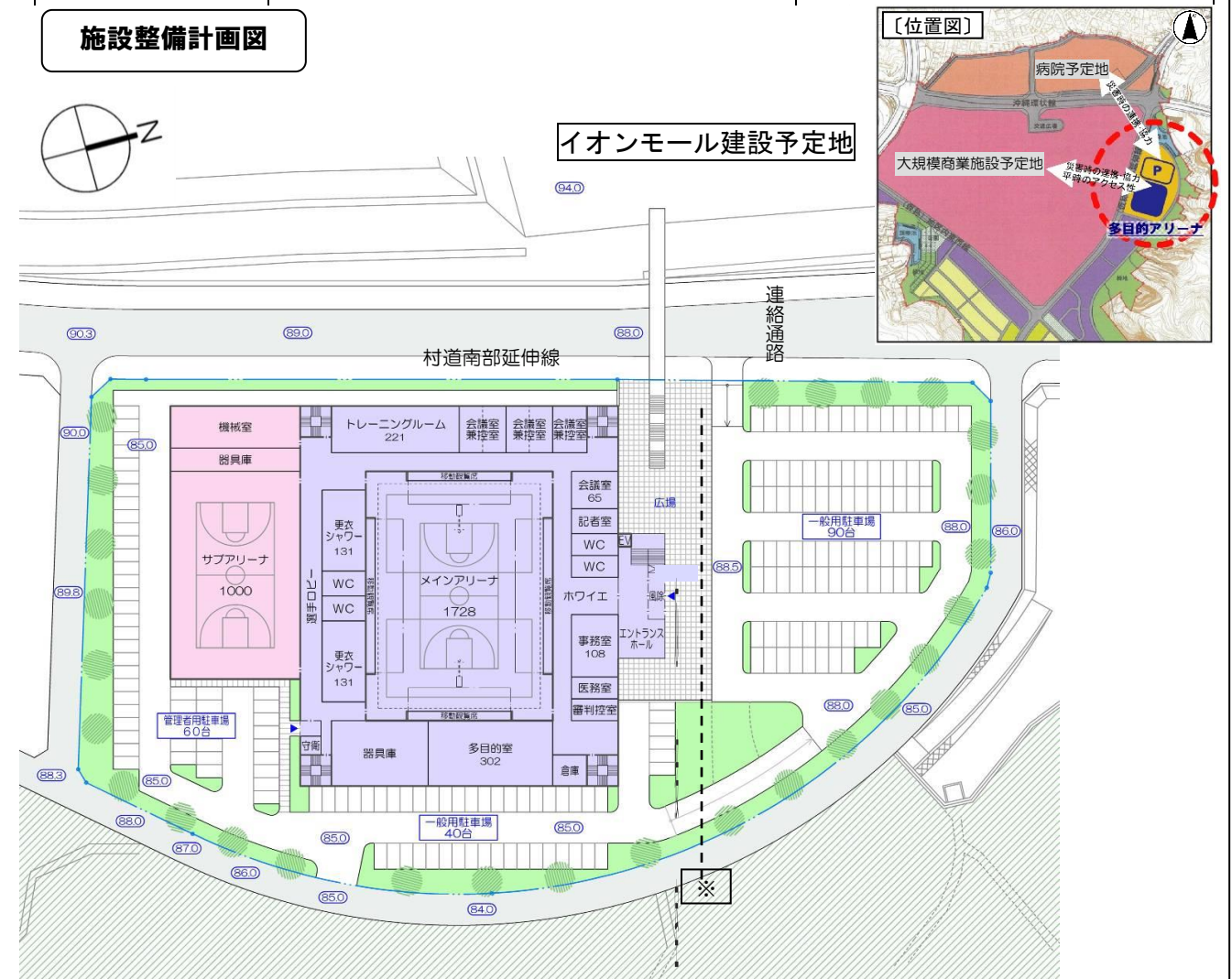
避難所スペース

避難所への訪問・診察

施設整備計画

| 施設種別 | 施設整備の考え方 | 施設 |
|---------|---|---------------------------------|
| 多目的利用施設 | スポーツ活動・健康づくり、国際交流、スポーツ・地域文化の振興、災害時の防災拠点など、多目的な利用に対応できる施設の整備 | メインアリーナ、サブアリーナ、トレーニングルーム、多目的室 |
| 活動支援施設 | 多目的利用に必要な付加的な施設の整備 | 会議・研修室・応接室、控室、トイレ、更衣室・シャワー室、器具庫 |
| 観覧支援施設 | スポーツ・地域文化の振興等に資する観覧支援施設の整備 | 玄関ホール、案内所、観客席、監視室・調光及び音響室 |

施設整備計画図



| | |
|------|-----------------------------------|
| 敷地面積 | 約 14,900 m ² (4,507 坪) |
| 建築面積 | 約 6,000 m ² (1,815 坪) |
| 建設費 | 約 26.5 億円 |
| 用地費 | 約 9 億円 |

今後の予定

| | |
|-----|-----------|
| H25 | 実施計画 |
| H26 | 実施設計・用地買収 |
| H27 | 用地買収・工事着工 |

※破線より右側の駐車場はアリーナの2階の高さにあるが、左側のアリーナ施設内平面図は1階を表示している。

